

# 美里町（宮城県）と基本協定

## オリコンサル 「交流の森・交流館」指定管理

オリエンタルコンサルタンツ（野崎秀則社長）と宮城県美里町（相澤清一町長）は11日、同町の近代文学館町民ギヤラリーで「美里町交流の森・交流館」の指定管理に関する基本協定を締結した。

同施設は、町民の余暇・交流活動と観光振興などを目的に、1994年に整備された宿泊施設。同町を含む大崎地域が世界農業遺産に認定されるなど、地域と施設を取り巻

く環境の変化に対応するため、7月に新たな指定管理者を公募した。これに、15年に「産業活性化拠点施設基本計画作成」など2件の業務を受注以降、美里事務所を開設す

るなど、町との関わりを深めてきた同社が応募、選定された。

指定管理期間は19―23年度までの5年間。館長には山本和幸東北支店プロジェクト開発部長が就く。現在の従業員は同社の社員として継続して雇用する。契約最終年の利用者数は現在の2倍以上となる5600人を目指す。

### 基本協定締結式及び合同記者会見



（写真右から）握手する佐藤所長、野崎社長、相澤町長、大橋議長

締結式では、相澤町長と佐藤雅樹美里事務所長が、野崎社長と大橋昭太郎町議会議長の立ち会いのもと、協定書に調印した。

会見で相澤町長は「今後、本町の観光物産の拠点として新たな取り組みや事業が展開され、地域経済の活性化に大きく貢献

されることを期待している」と話し、野崎社長は利用者サービス、地域振興、広報活動の3点を柱とする管理運営方針を説明した上で「これまでの実績・経験を踏まえ、地元の方々と連携・協力しながら本施設の運営をしっかりと実施していきたい」と決意を述べた。